

このたびは当社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。この取扱説明書をよくお読みいただき、安全にご利用ください。

9.5sq. インパクトレンチ (コンポジットタイプ) No.JAP351

業務用



取扱説明書

安全上のご注意

この使用説明書には以下のマークをつけています。

| | | | |
|--|--------------|--|------|
| | 拡大損害が予想される事項 | | 必ず行う |
| | 禁止行為 | | 分解禁止 |

使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく使用してください。

警告

死亡や重傷の原因となる。

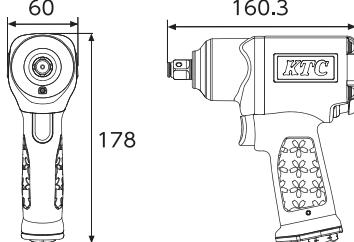
| 絵表示 | 重要事項 | 危害・損害 |
|-----|-------------------------------|-------------------------------|
| | ●ガソリン、ガス等の引火性の高い危険物の近くで作業しない。 | 爆発、発火により死亡や重傷を負う原因となる。 |
| | ●回転している先端部に触らない。 | 重傷となるケガの原因となる。 |
| | ●ソケット等の先端工具を装着した状態で空転させない。 | 先端工具が飛び、器物破損または重傷となるケガの原因となる。 |

注意

ケガや器物損傷の原因となる。

| 絵表示 | 重要事項 | 危害・損害 |
|-----|------------------------------------|----------------------|
| | ●工具本来の使用用途以外には使用しない。 | ケガや器物破損の原因となる。 |
| | ●分解・改造しない。 | ケガや器物破損の原因となる。 |
| | ●投げる、落とすなど衝撃を与えない。 | 本体の破損や器物破損の原因となる。 |
| | ●本製品に割れ、欠け、摩耗、変形等の異常が見られた場合は使用しない。 | ケガや器物破損の原因となる。 |
| | ●空回転させない。 | 本体の破損の原因となる。 |
| | ●ハンマー等で叩いて衝撃を加えない。 | ケガや本体の破損、器物破損の原因となる。 |
| | ●圧縮空気以外の動力源を使用しない。 | ケガや本体の破損、器物破損の原因となる。 |
| | ●製品を濡らさない。 | 本体の破損の原因となる。 |
| | ●使用時は保護メガネ、耳栓、安全帽、防塵マスク、安全靴を着用する。 | ケガの原因となる。 |
| | ●定期的に保守点検を行い、異常が認められる場合は使用を中止する。 | ケガや本体の破損、器物破損の原因となる。 |
| | ●作業に適した服装で作業する。 | ケガの原因となる。 |

製品寸法



諸元

| | |
|-----------|---------------------|
| ドライブ角 | No.JAP351 |
| 先端工具止め方式 | 9.5sq. |
| 能力ボルト径 | リング止め式(ピン穴あり) |
| 無負荷回転数 | M13 |
| 最適使用空気圧 | 8000rpm |
| 無負荷空気使用量 | 0.62MPa(動圧) |
| エアインレット | 0.133m³/min(4.7cfm) |
| 使用エアホース内径 | PT1/4" |
| 重量 | 8mm |
| | 1.23Kg |

使用方法

注意

ケガや器物損傷の原因となる。

| 絵表示 | 重要事項 | 危害・損害 | 絵表示 | 重要事項 | 危害・損害 |
|-----|-----------------------------|----------------|-----|--------------------------|----------------|
| ! | ●作業対象物を確実に保持する。 | ケガや器物破損の原因となる。 | ! | ●作業対象物を確実に保持する。 | ケガや器物破損の原因となる。 |
| ! | ●先端工具の交換は必ずエアカプラを取り外してから行う。 | ケガや器物破損の原因となる。 | ! | ●エアカプラを確実に取り付ける。 | ケガや器物破損の原因となる。 |
| ! | ●清浄で完走した圧縮空気を使用する。 | 本体破損の原因となる。 | ! | ●先端工具がしっかりと装着されているか確認する。 | ケガや器物破損の原因となる。 |
| ! | ●専用の先端工具を使用する。 | ケガや器物破損の原因となる。 | | | |

使い方

① 使用目的にあつた先端工具(ソケットなど)をドライブ角に取り付ける。

(○) 連続して1分以上稼働させない。異常劣化する恐れがある。

② エアカプラを取り付ける。

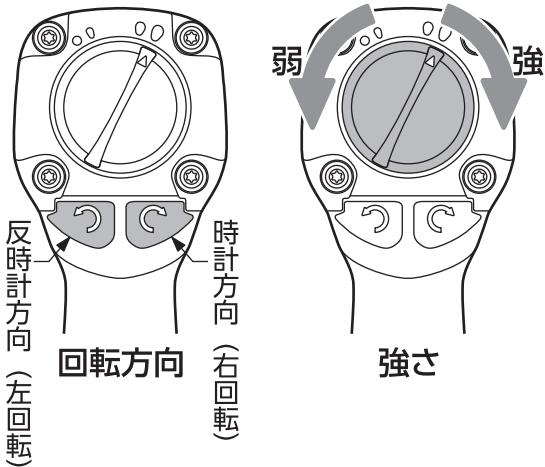
(!) ソケット等の先端工具はインパクトレンチ用を使用する。

③ 回転方向を確認し、強さをレギュレーターで調整する。

(!) 推奨エア圧: 0.6~0.7MPa (6~7Kgf/cm²)

確認 反時計方向(左回転)時の強さは最大となり、レギュレーターによる調整はできません。

④ ボルト、ナットに先端工具を合わせる。



⑤ トリガーを押し、回転させる。

⑥ 作業が完了したらトリガーを離し、回転が止まるのを確認する。

(!) ●使用後はエアインレット部よりオイルを数滴注油する。
●エアインレット部からホコリやゴミが入らないように保管する。

確認 ●トルク制御機能は有しておりません。作業後はトルクレンチで規定のトルク値で締めてください。

お使いになるエア(圧縮空気)について

| | |
|-----|---------------------------------------|
| (○) | 劣化したエアホースは使用しない。 |
| ! | エア配管にはフィルター、レギュレーター、オイラーを装備する。 |
| ! | コンプレッサの配管は定期的に清掃し、ドレンや水分を除去する。 |
| ! | エア機器全体で使用する十分な能力のコンプレッサ、配管及びホースを使用する。 |
| ! | 付属のエアカプラを使用する。 |

販売者の名称・所在地: 京都機械工具株式会社

本製品のお問い合わせはお客様窓口までお寄せください。

お客様窓口

☎ (0774)46-4159
Fax (0774)46-4359

E-mail: support@kyototool.co.jp
電話受付時間: 9:00 ~ 12:00/13:00 ~ 17:00
(土・日・祝祭日及び弊社休業日除く)

〒613-0034 京都府久世郡久御山町佐山新開地 128 番地

製品情報 <http://ktc.jp/>

製造国: 台湾

※仕様及び外観は改良の為予告なく変更することがあります。

T067015-0,16,11,KTC